

美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会（第5回）議事録

1. 日時：平成29年10月12日（木） 19:00～21:15

2. 場所：美濃加茂市生涯学習センター203

3. 出席者：

（1）委員

海道会長、鈴木委員、鹿野委員、日比野委員、山田（智）委員、渡邊（博）委員、安藤委員、渡邊（須）委員、佐光委員、佐合（茂）委員、長谷川委員、山田（亜）委員、渡辺（勝）委員、西田委員

（17名中14名出席）

（2）株式会社ミュキデザイン3名 株式会社ソーシャル・アクティ1名
名古屋工業大学（学生）1名

（3）市

副市長、経営企画部長、施設経営課長、施設経営課課員4名

4. 概要：

（1）あいさつ

会議開始にあたり、会長からあいさつがあった。続いて、副市長からあいさつがあった。

（2）報告事項

事務局から、新庁舎関連資料について報告があった。報告された内容は、前回委員会の議事録、市民ワークショップ通信、おでかけワークショップ結果、美濃加茂市役所を対象とした室内環境測定・職員アンケート調査結果、市民アンケート結果（詳細版）等である。

（3）審議事項

資料5-1に基づき、以下の3点について審議を行った。

- ①新庁舎整備の候補地の比較分析
- ②新庁舎整備の事業手法
- ③新庁舎をいかしたまちづくり構想

議論の結果、次回の委員会では、本日の議論を踏まえて作成する答申（案）について審議することとした。

なお、委員から出された主な意見は以下のとおり。

①新庁舎整備の候補地の比較分析：

- ・p12 各候補地に対する意見として本委員会の委員の意見のみが掲載されているが、最終的にまとめる資料では市民WSで出された意見も加えるべき。

②新庁舎整備の事業手法：

- ・市庁舎をリース方式で新設する可能性があるのか（→会長から回答：市長からの諮問事項に新庁舎整備の事業手法が含まれているため、従来方式以外にこうしたリース方式やPFI方式についても調査や審議をしなければならない）
- ・当市は新庁舎整備に係る事業費の総額がまだ決まっていない。他市の新庁舎整備事例に関しては、新庁舎事業の財源についてさらに調査をして欲しい（合併特例債、基金等）。
- ・分散型庁舎にして、一つは従来方式、他はリース方式ということも可能だ。
- ・本委員会には、候補地を一つにすることまでは求められていない。我々はP8,9（各候補地の評価）についてもっと議論していけばよいのでは。
- ・分棟については、p12の事業手法の中で整理するのではなく、他の箇所でも整理すべき。
- ・候補地について審議するのは、現段階では早いのではないか。（→会長から回答：市長からの諮問事項に候補地の比較分析が含まれているため、審議をお願いしている）

③新庁舎をいかしたまちづくり構想

- ・「太田宿」という語句をまちづくり構想のコンセプトに使用することについては、さらに審議が必要。
- ・「太田宿」を知らない市民もいる。また概念的に太田宿イコールまちづくりとすぐにはつながらない方も多いただろう。
- ・p16「開いた庁舎」は「開かれた庁舎」、「まちを元気にする庁舎」は「まちが元気になる庁舎」にすべき。
- ・美濃加茂市第五次総合計画において市の将来像として「まあるいまち みのかも」という言葉がある。新庁舎基本構想の基本理念もこれにつながるようにしたらよい。
- ・若者の中には太田宿や「まあるいまち」を知らない者も多い。これらの語句を使用するなら用語の解説が必要。
- ・まちづくり構想のコンセプトや庁舎の基本理念については、どこの市でも使えるような一般的・普遍的なものではなく、美濃加茂市独自のものが望まれる。
- ・昔は美濃加茂市といえば太田だったが、今後は太田の代わりに美濃加茂を前面に出したらよいのではないか。
- ・2050年の未来における、市の人口、職員数、市役所業務を予想しつつ、それに柔軟に対応できる市役所を考えていくべき。

5. 今後の予定

次回開催日時は、平成29年12月5日 19:00～21:15とした。

以上